第6章 部門別概念・定義・範囲

本章は、平成12年表の基本分類の各部門について、その概念・定義・範囲を規定したものである。平成12年表の部門分類は、原則として、平成7年表を踏襲しているが、一部に変更が加えられており、それらは、各部門ごとに変更内容を記載しているほか、第1節の（別表2）として、新旧対照表が示されている。また、本章で言及している日本標準産業分類（JISIC）は、平成5年10月改訂のものである。

部門概念・定義・範囲は、おおむね次のとおり記述している。

[列・行コード、名称]

内生部門、最終需要部門、租税加価値部門については、コード順に、それぞれ概念の大きな列（行）部門ごとに整理して規定している。

（担当府省庁）
当該部門の担当府省庁名を記載している。
（定義・範囲）
当該部門の概念・定義・範囲を規定している。
（品目例示）
当該部門の活動により産出される主な財又はサービスを行部門ごとに例示したものである。

ただし、行部門名から産出される主な財又はサービスが明らかに例示には示されていないため、省略している。
（平成7年表からの変更点）
平成12年表において平成7年表の概念・定義・範囲を変更したもの等について記載している。
（注意点）
概念・定義・範囲に関する留意点、平成2年表から平成7年表における変更点について記述している。
（対応するJISIC）
当該部門が主に主に国際標準産業分類（改訂第3版）のコード及び名称を参考として記述した。

（注）1 基本分類の部門名称欄の★印は、生産活動主体を次のように示す。
★★・・・政府サービス生産者
★★・・・対家計民間非営利サービス生産者
無印・・・産業
2 Fは仮設部門を示す。
（担当府省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0112「米作以外の穀作農業」のうち、豆類の生産活動を範囲とする。
（品目例示） 大豆（国産），大豆（輸入），その他の豆類（えんどう，そらまめ，いんげん豆，小豆，ささげ，らっしゃい，その他の豆類）
（注意点） 未成熟の大豆，えんどう，そらまめ，いんげん豆は「野菜（露地）」に含まれる。
（対応するISIC） 0111 食物及び他に分類されない作物栽培農業

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0112-02</td>
<td>0112-021</td>
<td>大豆（国産）</td>
</tr>
<tr>
<td>0112-022</td>
<td>大豆（輸入）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>0112-029</td>
<td>その他の豆類</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0114「果樹作農業」の生産活動を範囲とする。
（品目例示） かんきつ：みかん，なつみかん，ネープルオレンジ，はっさく，いよかん，その他のかんきつ，かんきつ類の植物成長
りんご：りんご，りんごの植物成長
その他の果実：ぶどう，日本なし，西洋なし，もも，すもも，おうとう，うめ，びわ，かき，くり，キウイフルーツ，パイナップル，その他の果実，その他の果実の植物成長
主な輸入品：オレンジ，グレープフルーツ，パイナップル，バナナ，レモン，キウイフルーツ
（対応するISIC） 0113 果実，ナッツ，飲料用作物及び香辛料作物の栽培農業

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0114-01</td>
<td>0114-011</td>
<td>果実</td>
</tr>
<tr>
<td>0114-012</td>
<td>りんご</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>0114-019</td>
<td>その他の果実</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0115「砂糖原料作物」のうち，砂糖原料作物の生産活動を範囲とする。
（品目例示） さとうきび，てんさい
（対応するISIC） 0111 食物及び他に分類されない作物栽培農業

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0115-01</td>
<td>0115-011</td>
<td>砂糖原料作物</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0116「工芸農作物農業」のうち，飲料用作物の生産活動を範囲とする。
（品目例示） コーヒー豆，カカオ豆（輸入）
（対応するISIC） 0113 果実，ナッツ，飲料用作物及び香辛料作物の栽培農業

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0115-02</td>
<td>0115-021</td>
<td>飲料用作物</td>
</tr>
<tr>
<td>0115-029</td>
<td>その他の飲料用作物</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（対応するISIC） 0112 野菜，園芸作物及び苗の栽培農業

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0112-01</td>
<td>0112-021</td>
<td>野菜（国産）</td>
</tr>
<tr>
<td>0112-022</td>
<td>野菜（輸入）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>0112-029</td>
<td>その他の野菜</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（対応するISIC） 0113 果実，ナッツ，飲料用作物及び香辛料作物の栽培農業
<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0115-09</td>
<td>0115-091</td>
<td>その他の食用栽培作物</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0115-092</td>
<td>甘薯作物</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0115-093</td>
<td>食用工芸作物（除別掲）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類011「栽培農業」のうち、他に分類されない食用栽培作物の生産活動を範囲とする。

（品目例示） 落花生（食用作物）：らい麦、そば
栽培作物（収穫作物）：えん麦、とうもろこし、あわ、きび、ひえ
栽培作物（主な輸入品）：とうもろこし、グレーンソウサ、そば
栽培作物：なたね（種実）、ごま、オリーブ
食用工芸作物（除別掲）：こんにゃくいも、香辛料作物（輸入）、栽培用カッサバも（輸入）

（注意） 平成7年製において、平成2年製「0111-03 総数」を「0115-09 その他の食用栽培作物」に統合。

（対応するISIC）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0116-01</td>
<td>0116-011</td>
<td>飼料作物</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産業
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類0119「その他の栽培農業」のうち、栽培作物の生産活動を範囲とする。

（品目例示） 養殖（食用作物）：鶏
栽培作物（収穫作物）：牧草、飼料作物

（対応するISIC）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0116-02</td>
<td>0116-021</td>
<td>種苗</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産業
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類0119「その他の栽培農業」のうち、種苗の生産活動を範囲とする。なお、生産物を直接自部門投入して生産活動を行うものを除く。

（品目例示） 農産物（畜産物、蜜を除く）の種子、球根、苗木（山行き苗木を除く）

（注意） 花き苗は、「0116-03，031 花き・花木類」に含まれる。

（対応するISIC）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0116-03</td>
<td>0116-031</td>
<td>花き・花木類</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産業
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類0115「花き作農業」の生産活動を範囲とする。

（品目例示） 花き、花苗、花木、花き苗、芝

（対応するISIC）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0116-09</td>
<td>0116-091</td>
<td>その他の非食用栽培作物</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0116-092</td>
<td>生ゴム（輸入）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0116-093</td>
<td>繊維（輸入）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0116-099</td>
<td>その他の非食用栽培作物</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産業
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類0111「栽培農業」のうち、他に分類されない非食用栽培作物の生産活動を範囲とする。

（注意） 平成7年製において、平成2年製の列部門「0116-02 落花生」を「0116-09 その他の非食用栽培作物」に統合。

（対応するISIC）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0111</td>
<td>0111-01</td>
<td>飼料作物</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産業
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類0119「その他の栽培農業」のうち、栽培作物の生産活動を範囲とする。

（品目例示） 青汁（食用作物）：寒々、牧草、栽培用かぶ

（対応するISIC）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0112</td>
<td>0112-01</td>
<td>野菜、園芸作物及び苗の栽培農業</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁） 農林水産業
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類0119「その他の栽培農業」のうち、栽培作物の生産活動を範囲とする。

（品目例示） 乳牛子（畜向け、肥育向け）、乳児牛の頭数増・肥育、きゅう肥

（対応するISIC）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0121-01</td>
<td>0121-011</td>
<td>種畜</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0121-019</td>
<td>その他の畜産物</td>
</tr>
<tr>
<td>項コード</td>
<td>行コード</td>
<td>部門名称</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>---------</td>
<td>---------</td>
</tr>
<tr>
<td>0121-02</td>
<td>0121-021</td>
<td>鶏卵</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0124「養殖業」
のうち、鶏卵の生産活動を範囲とする。
（品目例示） 鶏卵、成鶏（含む成鶏換算飼養頭数の増減）、
不正常卵、卵ふん
（対応するISIC） 0122 その他の蓄産農業；他に分類されない
動植物製造業

<table>
<thead>
<tr>
<th>項コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0121-03</td>
<td>0121-031</td>
<td>肉鶏</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0124「養殖業」
のうち、肉鶏の生産活動を範囲とする。
（品目例示） プロイター、鶏ふん
（対応するISIC） 0122 その他の畜産農業；他に分類されない
動植物製造業

<table>
<thead>
<tr>
<th>項コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0121-04</td>
<td>0121-041</td>
<td>豚</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0123「養豚業」
の生産活動を範囲とする。
（品目例示） 豚（含む豚換算飼養頭数の増減）、きゅう
う肥
（対応するISIC） 0122 その他の畜産農業；他に分類されない
動植物製造業

<table>
<thead>
<tr>
<th>項コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0121-05</td>
<td>0121-051</td>
<td>肉用牛</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類0122「肉用牛生
産業」の生産活動を範囲とする。
（品目例示） と骨向け（含む牛換算飼養頭数の増減）、
肥育向け子畜、きゅうう肥
（対応するISIC） 0121 牛、羊、山羊、馬、ろば、らば及びけっ
てい飼育業；酪農業

<table>
<thead>
<tr>
<th>項コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0121-09</td>
<td>0121-091</td>
<td>その他畜産</td>
</tr>
<tr>
<td>0121-099</td>
<td>その他畜産</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類012「畜産農業」
のうち、他に分類されない畜産農業の生産活動
及び細分類0131「養豚農業」の生産活動を範
囲とする。
なお、他部門で発生する豚・豚産物（毛皮等）は本部門を統合部門とする。
（品目例示） 羊毛、馬（軽種馬を含む）、ヤギ、豚肉、豚
皮用動物（ミンク、うさぎ等の飼育及びその
の毛、毛皮等）、食用鳥類、その他の食用畜
産物（ヤギ乳、はちみつ、うずら卵）、愛
玩動物・鳥類、実験用動物（マウス、モル
ラット）、きゅう肥、肥gles（上頬、下顎、玉・
肩等）、塩塩、桑、茶の葉の植物成長
（平成7年表からの変更点）
平成7年改の「0122-01、-011 養豚」を本
部門に統合する。
（対応するISIC）
0121 牛、羊、山羊、馬、ろば、らば及びけっ
てい飼育業；酪農業
0122 その他の畜産農業；他に分類されない
動植物製造業

<table>
<thead>
<tr>
<th>項コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0131-01</td>
<td>0131-011</td>
<td>獣医業</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の細分類8441「獣医業」
の活動を範囲とする。
（対応するISIC）
8520 獣医業

<table>
<thead>
<tr>
<th>項コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0131-02</td>
<td>0131-021</td>
<td>畜業サービス（除飼医業）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当省庁） 農林水産省
（定義・範囲） 日本標準産業分類の小分類014「農業サー
ビス業（園芸サービスを除く）」の活動を範
囲とする。
（品目例示） カントリー・エレベーター、ライスセンター、
稲作共同育苗施設、土地改良区、野菜等共同
選果場、航空除雪、稲葉共同飼育業、種交付、
卵産業
（対応するISIC）
0140 農業及び畜産サービス業（飼医業を
除く）
<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0211-01</td>
<td>0211-011</td>
<td>林業</td>
</tr>
<tr>
<td>0311-01</td>
<td>0311-001</td>
<td>海面漁業（国産）</td>
</tr>
<tr>
<td>0311-02</td>
<td>0311-002</td>
<td>沼田漁業</td>
</tr>
<tr>
<td>0311-03</td>
<td>0311-003</td>
<td>遠洋漁業</td>
</tr>
<tr>
<td>0311-04</td>
<td>0311-041</td>
<td>海面養殖業</td>
</tr>
<tr>
<td>0312-01</td>
<td>0312-001</td>
<td>内水養殖業</td>
</tr>
<tr>
<td>0312-02</td>
<td>0312-002</td>
<td>内水養殖業</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(担当府省庁) 農林水産省
(定義・範囲) 日本標準産業分類の小分類0211「林業」及び0311「漁業」の活動を範囲とする。

(品目別示) 丸太（そま角、大割材等を含む）

(対応するISIC) 0200 林業、伐採業及び関連サービス業

(担当府省庁) 農林水産省
(定義・範囲) 日本標準産業分類の細分類0213「特用林業」の活動を範囲とする。

(品目別示) きのこ類（まつたけ、しいたけ、えのきたけ等）、種実（うり、くろみ等）、樹皮（しゅうろ皮等）、生るし、竹材、薪、木炭（黒炭、白炭）、鉄剣による動物原皮

(注意点) ① きのこ類のうち栽培したものは列部門「0114 - 01 果実」及び行部門「0114 - 09 その他の果実」に含める。
② 日本標準産業分類の細分類0249「その他の林業サービス業」は、本部門の範囲とするが、同業に係る費用の受払はすべて自部門取引となるので生産額には計上しない。

(対応するISIC) 0112 林業、伐採業及び苗の栽培農業
0150 牧畜業、わらを割業及び養馬・飼育
0200 林業、伐採業及び関連サービス業

(担当府省庁) 農林水産省
(定義・範囲) 日本標準産業分類の細分類0311「内水養殖業」及び042「内水養殖業」の活動を範囲とする。

(品目別示) 内水漁業：さけ類、からふと、さんかえる、さくちん、ひでお、にます、いなわ、いなさぎ、あゆ、しろうお、こい、ふな、うなぎ、えび類、藻類
内水養殖業：鶴亀、あゆ、こい、ふな、うなぎ、テトラビア、淡水真珠、きんぎょ、錦ごい

(対応するISIC) 0312-01 内水養殖業
0312-02 内水養殖業
2 鉱業

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0611-01</td>
<td></td>
<td>金属鉱物</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0611-011</td>
<td>鉄鉱石</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0611-012</td>
<td>非鉄金属鉱物</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁）経済産業省
（定義・範囲）日本標準産業分類の中分類06「金属鉱業」の掘掘及び選鉱活動を範囲とする。
（品目例示）非鉄金属鉱物：銅鉱、鉛・亜鉛鉱、金鉱、銀鉱、銅鉱、タンタル鉱、硫化鉱鉱
（注意点）平成7年版において、平成2年版の列部門「0611-01 鉄鉱石」及び「0612-01 非鉄金属鉱物」を統合。部門部門「0612-01 鉄鉱石」「0612-01 鉛・亜鉛鉱」及び「0612-019 その他の非鉄金属鉱物」を統合。

（対応するISIC）
1200 ウラニウム及びトリウム鉱
1310 鉱鉱業
1320 非鉄金属鉱業（ウラニウム鉱及びトリウム鉱を除く）

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0621-01</td>
<td></td>
<td>窯業原料鉱物</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0621-011</td>
<td>石灰石</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>0621-019</td>
<td>その他の窯業原料鉱物</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁）経済産業省
（定義・範囲）日本標準産業分類の小分類082「窯業原料鉱物鉱業（耐火物・陶磁器・ガラス・セメント原料用に限る）」の掘掘及び選鉱活動を範囲とする。
なお、他部門で発生する物・副産物（石膏、化学石こう、高炉ガス灰、フライアッシュ、ガラス屑）は本部門を対象部門とする。
（品目例示）その他の窯業原料鉱物：けい石、けい砂、ドロマイト、ろう石、粘土、長石、陶石、ガラス屑
（注意点）平成7年版において、平成2年版の列部門「0621-01 石灰石」及び「0621-09 その他の窯業原料鉱物」を統合。

（対応するISIC）
1410 石・砂及び粘土採掘業
1429 他に分類されないその他の鉱業及び採石業

<table>
<thead>
<tr>
<th>列コード</th>
<th>行コード</th>
<th>部門名称</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0622-01</td>
<td></td>
<td>砂利・採石</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（担当府省庁）経済産業省
（定義・範囲）日本標準産業分類の小分類081「採石業、砂・砂利・玉石採掘業」の掘掘、採石及び選鉱活動を範囲とする。
（品目例示）砂利、砂、かんらん岩（精鉱）
（対応するISIC）
1410 石・砂及び粘土採掘業